

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科後期課程
大項目	5 学生の受け入れ
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 入試要項やウェブサイトを通じて、社会に広く、学生受け入れ方針を公表する	→ (ウェブサイト閲覧者+入試要項発送者) ÷ 2	A
2. 入学試験の都度、学生募集や入学者選抜が、上記の方針に沿って行われているかどうかを、内部評価する	→ 内部評価の開催回数	A
3. 入試実行小委員会委員の人選をローテーションする	→ 各教員の委員就任平均回数	B
4. 入学試験の都度、学生募集や入学者選抜についての実施状況についての内部評価を行う	→ 内部評価の開催回数	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

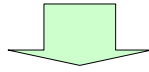
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目5.0.1	(方針) 進学希望のある学生に対して入試説明会を開催し、研究科委員長と研究科代表委員が、本研究科の目的や理念を進学希望者に直接、説明を行っている。進学希望者はここでの説明と将来、研究指導を担当する教員との事前の意思疎通を通じて、研究科への進学動機を明確にするように務める。 (現状説明) 紙媒体に加え、上記のような対応方針に基づき、入学希望者への説明等は、非常に充実した内容で行われている。
☆ 小項目5.0.2	(現状説明) 現在、博士課程委員会における意見交換において、入試実施状況についての意見交換を定期的に行っている。
☆ 小項目5.0.3	(現状説明) 定員割れする研究科が多い中で、本研究科は当初から入学希望者が多く、順調に定員数を充足している。
☆ 小項目5.0.4	(現状説明) 現在、博士課程委員会における意見交換において、入試実施状況についての意見交換を定期的に行っている。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目5.0.1	入学志願者は予想以上に多いので、効果が上がっていると考えられる。
小項目5.0.2	
★小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	



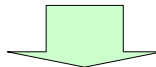
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★小項目5.0.3	博士課程教員の人数が少ないので、入試業務の割り振りに苦労がある。
小項目5.0.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★小項目5.0.3	博士課程教員陣容の強化
小項目5.0.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○学生数が収容定員を上回って確保されており、中期的には教員体制の強化が課題になると思われます。

【学内委員】

○本項目で評価している内容に対して、「改善すべき事項」の記述は、関連した内容ですが、評価目標に照らすと必ずしも中心的な内容ではないように思われます。

○目標の多くが研究科を運営する上での日常業務の方針ですので、研究科が改善していくような目標をあらたに検討されることが望まれます。

IV. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★

平成23年度以降、本課程の指導教員と指導補佐教員は相当数増員の予定である。これを受けて、現在抱えている諸問題（たとえば、収容定員を超える在籍者に対する適切な研究指導）も解決の予定である。なお、現在、一部の教員が多数の学生を抱えている現状は、学生の希望する研究テーマが当該教員の研究するテーマに集中しているためであり、学生の適正な受け入れを継続するためには、学生の志望する研究テーマを指導できる教員等の補充を検討する必要性を感じている。

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

5.0.0.S1	学生の多様性の確保－入試形態数と入試形態別入学者の割合
5.0.0.S2	各学部の新入生数のうち、一般入試(センター利用入試を含む)の割合
5.0.0.S3	地域別入試会場別志願者数、受験者数、合格者数、入学者数
5.0.0.S4	入試講評(問題と正解、正答率とそのコメント)の公表とその頒布数
5.0.0.S5	AO入試の受験者数と入学者数
5.0.0.S6	社会人学生数(学部別、研究科別)
5.0.0.S7	専門職大学院(KGPS)の受験者数および入学者数
5.0.0.S8	科目等履修生(教職免許状および博物館学芸員資格取得を含む)の入学者数
5.0.0.S9	聴講生の入学者数
5.0.0.S10	留学生数(学部別、研究科別)
5.0.0.S11	国別留学生数(学部別、研究科別)の経年変化
5.0.0.S12	学部における収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S13	学部における入学定員に対する入学者比率
5.0.0.S14	編入学定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S15	博士課程前期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S16	博士課程後期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在学学生数比率
5.0.0.S17	学部・学科の退学者数
5.0.0.S18	学部・学科の編入学者数

<個別的な指標>
